2　重点経常研究

(1)　「ディーゼル車対策による環境中の PM2.5 及び有害化学物質排出量削減効果の推定」(継続課題)

[総合評価とコメント]

○　ディーゼル車の規制が始まる時期で、タイミングとして非常に重要な時であり、研究の成果が期待されます。成果が多くの人の目に触れるよう、発表の方法を工夫されると良いと思います。

○　ディーゼル車に起因する有害物質の排出抑制の方法として、PM 減少装置や低公害車の導入を中心に検討されており、今後、これが実行されることで効果が発揮することを期待します。

一方、渋滞解消など、ソフト面での対応方法やその効果についても検討されてはいかがでしょうか。

○　重要なテーマであり、施策の評価を行う上でも良い成果が得られると思う。

更に、他地域でのモニタリング結果も含めて総合的な評価方法や、民間企業との連携も研究の進展状況に応じて検討して欲しい。

○　首都圏自治体との情報交換、連携の中で効率的に進めて欲しい。

民間企業へのフィードバックも積極的にお願いしたい。

ナノ粒子の研究では、新規分析装置の購入も必要でしょうか。予算措置ができるかどうか心配です。

○　必要なテーマであるが、業務的要素が強い印象を受ける。この点を踏まえて、まとめにあたっては研究的要素が出るようにして欲しい。

○　自動車排出ガス測定局での環境基準の達成率に係わる要因究明に資する有意義な研究と言える。10 月から実施のディーゼル規制の効果を検証するための綿密な研究計画の構築を望みたい。その成果を他都県に先がけ 12 月中にも中間発表する戦略も考慮に入れるべきであろう。

**(数値的評価)**　　★評価者 6 名

| ＜評価の内容＞ | ＜評価項目＞ | ＜ランク＞ |
|---|---|---|
| 計画の立案と実施法 | ○研究内容 | 1 (5 人)　2 (1 人)　3(0 人)　4(0 人)　5 (0 人) |
| | ○計画の妥当性 | 1 (4 人)　2 (2 人)　3(0 人)　4(0 人)　5 (0 人) |

凡例　1:よい　2:概ねよい　3:　問題点あり　4:　全面的見直し必要　5:　わからない